

建学の精神

青山学院の教育は、永久にキリスト教の信仰にもとづいて、行われる。

青山学院教育方針

青山学院の教育は キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き 真理を謙虚に追求し 愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

Messages



青山学院理事長
堀田 宣彌



青山学院院長
山本 与志春

Be the Difference

1874（明治7）年、米国のメソジスト監督教会から派遣された一人の女性宣教師が7人の生徒で始めた女子小学校が、幾多の変遷を経て、幼稚園から大学院まで約23,000名の園児・児童・生徒・学生を擁し、39万人の卒業生を輩出する総合学園となりました。

その青山学院は今年、創立150周年を迎えます。

現在、青山学院はグローバルつまり世界に軸を置き、世界に挑戦していく姿勢を示すために、「世界は一人ひとりの力で変えられる」（Be the Difference）を掲げ、社会の根底で他者を支え、導き、周りを照らす光となるサーバント・リーダーの育成に全力で邁進しています。

登山家が峻しい稜線を一步一步踏みしめて、頂を目指すように、青山学院も世界に羽ばたいていく若きサーバント・リーダーたちと、力をあわせ、「強く、雄々しく」未来に向かってその一歩を進めてまいります。

これからの青山学院にご期待ください。

すべての人と社会のために

青山学院は、キリスト教信仰にもとづく教育による、「愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成」を目指しています。すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人とは、戦争や貧困、差別、自然災害や気候変動、世界に山積する困難な問題を傍観するのではなく、自ら変革すべく進んで取り組む人です。そのために、多様な価値観を尊重し、対立から協働への道を模索し平和を実現する人です。

青山学院は、誰の命も大切にされ、誰もが教育の機会を保障され、誰もが公平で安全、安心して暮らせる社会を作るための教育と研究を進めてまいります。今は変革の時、既成の概念を取り払い、常識を打ち破り新たな世界を創り出す時です。

青山学院で学ぶ者が、自分の力や才能を、すべての人と社会のために喜んで捧げる「地の塩、世の光」たる、「サーバント・リーダー」として生き、新たな世界、真の平和を創り出す者であってほしいと願います。

青山学院のシンボルマーク



青山学院の校章は設置学校ごとに独自のものが使われています。いずれも「信仰の盾（エフェソの信徒への手紙6章16節）」を共通のモチーフとしており、神の守りと揺るがぬ信仰を象徴しています。